

令和6年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 秀峰会	代表者	櫻井 大	法人・事業所の 特徴	横浜市中心に様々な介護サービスを展開して、高齢者介護に長く携わっている。当事業所も地域に役立つサービスを提供し、介護事業者だけではなく、町内会行事への参加や乳幼児交流会を開催し、外部との交流にも力を入れている。
事業所名 (緑区)	小規模多機能型居宅介護 りんどう	管理者	横山 誠		

出席者数	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
				1人		1人	1人	1人		4人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	毎月のスタッフ会議の内容に、自己評価の振り返りを計画的に行っていく。	スタッフ会議の際に、自己評価や外部評価に関する内容を一部しか取り扱えなかった。	ミーティングの際に、常勤職員の2/3以上が参加していることが分かった。	年度初めに、スタッフ会議の内容予定を立てて、自己評価の振り返りを計画的に進めていくようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	地域の方に興味を持って頂けるように、事業所の道路側を中心に園芸等の工夫を行っていく。	プランターを用意して、ひまわりやコスモスを植えていた。	特にご意見等なし。	事業所の道路側で、季節の草花を育ていき、地域の方に興味を持って頂けるようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	地域担当者を複数名選出し、分担して、地域との関わりを持って行く。	地域担当者を2名選出して、いっぼさんとの交流会を行ってもらった。	いっぼさんとの交流会について、今後どのようにしていくのかと質問あり。今年度と同様の内容で継続していきたいと考えていると返答した。	今年度と同様に担当者を選任し、交流会を行っていく。別の形での交流が出来ないかも探っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	引き続き、外出行事を計画・実施していく。 ご利用者以外の方についても、注意を払い、心配な方が居れば、ケアプラザ等へ相談する。	外出行事として、町田薬師池公園、町田版画美術館、らぽーと横浜へご利用者と外出出来た。 ケアプラザ等にご利用者以外の方の件で相談は出来ていない。	特にご意見等無し。	外出行事は継続実施とする。 りんどうのご利用者で対応が困難なケースの他、地域の中で気になる方が居れば、ケアプラザ等へ報告・相談する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	対面での開催を継続し、事業所の様子も見て頂けるようにする。	対面で運営推進会議を開催できた。	りんどうのご利用者ご本人にも、運営推進会議に参加してもらっている。	対面での開催を継続していく。 他の職員へも共有が必要な内容に関しては、随時情報を周知していく。
F. 事業所の防災・災害対策	通常の避難訓練に加えて、災害時のBCP訓練も行っていく。 地域住民に避難訓練に参加してもらう為の取り組みを行う。	避難訓練と、大地震発生時のBCPの机上訓練も行った。 建物2階・3階の方へ避難訓練実施のお知らせを集合ポストへ入れたが参加者なしであった。	りんどうにおける防災計画(火災・風水害・地震等)がどのようなものか不明との話が挙がった。	BCPや防災計画に関しても、運営推進会議の中で触れていく。